

平成 26 年 9 月 10 日

北海道新幹線の開業準備に関する今後の取り組みについて

当社では現在、北海道新幹線新函館北斗開業に向けて、新幹線車両の新造や鉄道・運輸機構から受託した地上設備の建設工事のほか、社員教育や規程類の整備等、ハード・ソフト両面からさまざまな準備を進めています。

北海道新幹線は、今回開業する区間延長の半分以上が在来線との共用走行区間となることに加えて、厳冬期の厳しい自然環境のもとで走行することから、過去の新幹線では例のない以下のような特殊性を持つプロジェクトとなっています。

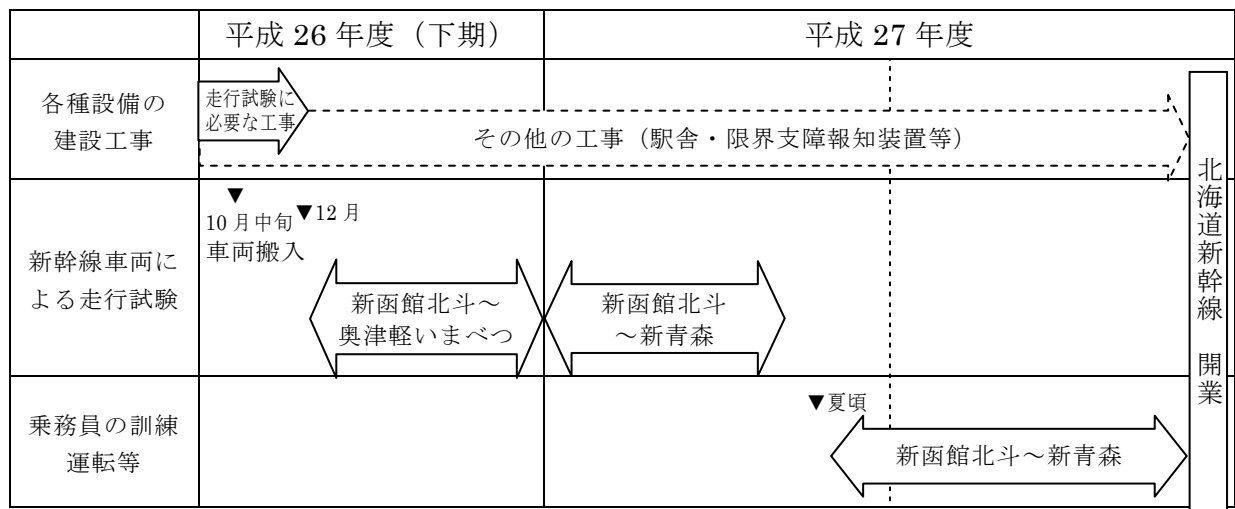
開業まで1年半となり建設工事も終盤を迎え、間もなく新幹線車両の搬入や走行試験の開始という新たな局面を迎えることから、開業準備体制のさらなる強化を図り、全社を挙げて開業準備に取り組んでまいります。

1. 北海道新幹線の特殊性【別紙】

- ①新幹線と在来線が同一の軌道・空間を共用するため、開業直前までの間、各種設備の建設工事や車両を使用した走行試験等は在来線列車の運行していない時間帯に限定される
 - ②共用走行区間には在来線列車のための設備（三線分岐器、三線式 DS-ATC 等）も併設することから、オペレーション（ダイヤ構成・運行管理等）が複雑化し、開業前に実施しておくべき試験項目（ATC 現示試験・すれ違い試験等）も増加
 - ③厳冬期の運行を念頭に置き、積雪・低温等に対する十分な性能検証が必要
- これらに対応するため、関係者との協議を行い、拡大間合い等の設定や夜行寝台列車の計画運休なども実施させていただき予定で。

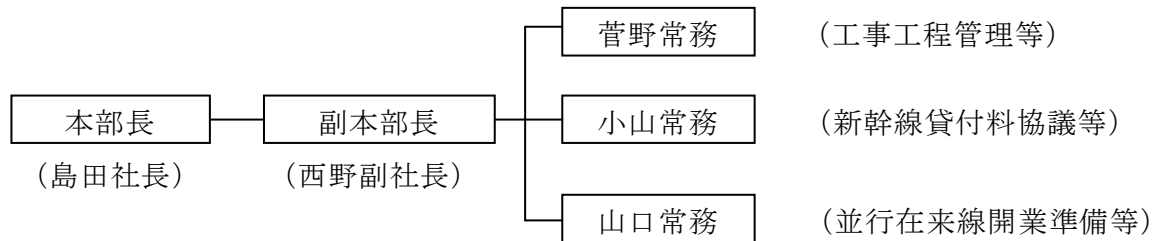
2. 今後のスケジュール

平成 27 年度末の開業に向けては、本年 12 月から新幹線車両による走行試験を着実に実施することが必要であり、これに必要な工事については 11 月までに完了させる予定です。



3. 「北海道新幹線開業準備対策本部」の設置

本社に社長を本部長、副社長を副本部長とする「北海道新幹線開業準備対策本部」を設置し、各常務取締役全員で役割を分担して、開業準備に万全を期してまいります。



○設置日 平成 26 年 10 月 1 日 (予定)

4. 「新幹線準備運輸車両所」の設置について

北海道新幹線の車両基地として、函館総合車両基地（認可申請時の名称）の建設が進められていますが、10月中旬に新幹線車両（H5系）が搬入され、12月からはこの編成を使用した走行試験が開始される予定です。

これら各種試験等に対応するための準備組織として、函館総合車両基地内に「新幹線準備運輸車両所」を設置します。

○設置日 平成 26 年 10 月 1 日 (予定)

○社員数 約 20 名

5. 「木古内新幹線工事事務所」の体制強化

新幹線と在来線との共用走行区間

【別紙】

北海道新幹線新青森～新函館北斗間約149kmのうち、新幹線列車のみが走行する新線区間は約67km（約45%）であり、青函トンネルを含む約82km（約55%）の区間は、新幹線列車と在来線列車の両方が走行する「**共用走行区間**」です。

